



第 1677 回例会

平成 23 年 10 月 24 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 60 名 出席者数 38 名
出席率 63.33% 前回修正出席率 80.00%

4. 会長スピーチ



会長 田村 健治 君

今日は人の寿命と税金の係わりについての話をします。皆さんご存知の様に、日本ではタバコとアルコール飲料には高く課税されています。その理由の1つに、安いと多く摂ることになり、それが健康を害する為と言うことです。同じような目的で、健康を損なう食物にも実際に課税を導入した国があります。

平均寿命の世界ランキング第 29 位のデンマークが、国民の平均寿命を延ばすために今月から「脂肪税」を導入しました。この異例の課税に賛否両論が飛び交う中、着々とバターなど動物性脂肪に多く含まれる「飽和脂肪酸」を一定以上含む食品は次々と値上がりしています。政府は食生活の改善を目指し、心臓疾患などの生活習慣病を予防するため、世界初の試みとして 3 月に導入を決定しました。デンマークの厚生大臣は、「砂糖、脂肪、たばこに高い課税をすることは平均寿命を延ばすため、重要な施策の1つだ」と述べています。デンマークはここ数年 OECD 加盟国の平均寿命 78 才を下回っており、次の 10 年で寿命を 3 歳延ばすことを目標としています。

一般的に、飽和脂肪酸を多く摂取すると、動脈硬化などを引き起こす悪玉コレステロールが増加し、癌の原因になるとも言われています。対象となるのは、2.3%以上の飽和脂肪酸を含むバター、チーズ、牛乳、ピザ、肉、ジャンクフードなどで、飽和脂肪酸 1 キロ当たり約 220 円の税金がかかります。政府は、今回

の課税で約 22 億クローネ（約 300 億円）の収税が見込まれており、バターの消費量は約 15% 減少すると試算しているようです。

一方で、この施策には否定的な声も上がっています。英國 BBC 放送によると、施行前消費者には買いための動きが広がりました。また、生産者は「官僚的な課税」と批判し、科学者からは飽和脂肪酸よりも「塩、砂糖、炭水化物の方が有害だ」との指摘も出ています。また、ハンガリーでは肥満防止のためにスナック菓子や清涼飲料水など塩分や糖分が多い食品に「ポテチ税」なるものを導入しており、もう珍しくない現象となっていました。日本ではどうなるでしょうか。寿命はお金では買えないんですけどねえ。でも、ちょっと興味深い話ではあります。

5. 幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山 RC

11月1日(火)→11月1日(火) 12:30~
ホテルグランビア和歌山(サインなし)

和歌山中 RC

11月4日(金)→11月4日(金) 19:00~
ロイヤルパインズホテル
(第2回クラブ協議会)

○11月のロータリーレート

1 \$ = 78 円

○事務所移転のお知らせ

橋本紀ノ川 RC

〒648-0086

橋本市神野々 962-1

TEL・FAX 0736-26-7234

6. 委員会報告

○社会奉仕委員会

10月29日 清掃活動



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：田村 健治 幹事：山畠 弥生 SAA：岩井 克次

<http://www.kainaneast-rc.jp> E-mail : info@kainaneast-rc.jp

7. 会員卓話

○クラブ青少年交換委員長会議の報告

新世代委員会 委員長 吉川 博之君

平成23年9月17日にテクスピア大阪で開催。



大澤ガバナ一点鐘、君が代とロータリーソング斎唱、奉仕プロジェクト部門カウンセラー米田直前ガバナー挨拶、新世代奉仕委員会カウンセラー挨拶があり、プログラムの意義と概要について説明がありました。次に交換学生の派遣について、羽衣ロータリーの茂野地区

委員長より話があり、プログラムには18歳から22歳対象の新世代交換もあるが、主として高校生程度の年齢の方を対象とした短期交換と1年の長期交換が主体、中3から高1の生徒を対象に希望者を募り、選抜後オリエンテーションを1から2年かけて出発。最近は留学希望する生徒が少ないが、その内から優秀な生徒を選抜して留学先の国の方に日本の伝統、すなわち天皇家を知っていただくことが重要と述べられた。思わず会場よりどよめきがあった。

地区委員より交換留学の受け入れについて説明。地元の高校と提携する必要あり。滞在家庭はロータリアンだけでなく、提携高校の生徒宅がベターとのこと。他の地区委員より新世代すなわち中高生のインタークト。大学生青年のローターアクト、青少年交換、ライラの相互協力について話があり、その中から将来のロータリアンが生まれればいいとのことでした。

質疑応答では、最近、留学希望者、特に男子が少ない。ほぼ渡航費のみで割安で留学できるので募って欲しいとのこと。地元ロータリーとして交換留学は大変なことだが、やりがいのあることの意見がありました。

名簿を見ると和歌山からの出席者が少なく、特に海南からの出席者は自分ひとりでした。

○米山記念奨学会委員長会議の報告

米山記念奨学会 委員長 那須 正志君



平成23年7月10日の地区協議会（堺リーガロイヤル）と9月11日のクラブ米山記念奨学委員長会議（りんくう国際物流センター）で委員長会議がありましたので報告します。いろいろと話を聞き勉強してきました。

まず、最初に本年度の活動方針の中から財団法人ロータリ

ー米山記念奨学会は日本で最初のロータリーを組織した米山梅吉氏の名前をとった民間最大の奨学団体です。日本で学ぶ外国人留学生の支援、交流を通して国を超えた絆や信頼関係を築き世界平和を願う心を育てます。

目的は、世界で通用する優秀な人材を育てる（意見

として現在日本で頑張っている日本人を支援はどうか？）自分がまず驚いたのは留学生はみな家庭的に恵まれた裕福な環境の子供たちばかりである。当日は奨学生も会議に出席し、そして交流の場を持ちました。何人かと話をした中で父親は役所、母親は学校の教員また弁護士やすごくいい家庭の子供たちばかりであったところにびっくりしました。これこそは世界で通用する優秀な人材に繋がるのかなと思いました。

当クラブにおいても一度奨学生との交流会を設けてみてもいいのではないかと思っています。それぞれ生まれた国の話、また日本の大学、大学院で何を専攻され何を目指しているのかを外国から来て勉強に励んでいる奨学生との交流が一番印象に残りました。それから奨学金を頂き奨学生と認定されるまでものすごく厳しい審査があるようです。まったく分からなかつたロータリー米山ですけど、いろんな資料を読み会議に出席し勉強していく中で少しだけ分かってきたように思います。（幹事からもしっかり勉強してくださいとたくさんの資料を頂いております。）以上が会議の報告でございます。最後に、先日皆様方にお願いをさせて頂いております寄付金の件でございますが、今の時節です金額に固執する事なく、出来る限りの寄付をお願いいたします。ありがとうございます。

○ロータリー財団委員長会議の報告

ロータリー財団委員会 委員長 阪口 洋一君

平成23年9月17日(土)

テクスピア大阪で開催。

★ロータリー財団とは

ロータリー財団の使命とは、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。財団への支援を通じて、ロータリアンは、人々の生活向上に貢献する力をえることができます。

★財団への寄付

クラブ会員は、次の各基金への寄付を通じてロータリー財団を財政的に支援することができます。

- ・年次プログラム基金
- ・恒久基金
- ・使途指定寄付（ポリオ・プラス基金など）
- ・その他



★ロータリー東日本震災復興基金について

公益財団法人ロータリー日本財団が 2010 年 12 月 24 日認証され、2011 年 4 月から年次寄付、ポリオ・プラス寄付金の受け入れを開始。寄付金をクラブで支払う場合は、個人の明細書とクラブの後継金額を記入のこと。2,000 円以上の寄付に対して税制上の優遇措置が得られます。ロータリー日本財団は被災地復興及び被災地の支援のため基金を設立し、協力を呼びかけています。

★ロータリー財団「未来の夢計画」について

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを踏まえ、管理委員会は、財団が奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。

夢計画の目的は、財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。

- ・世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
 - ・ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
 - ・ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共のイメージを高めること。

**ロータリー財団
未来の夢計画**



目的

財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること

ロータリアンが熱心に取り組むべき世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること

貧困の状態と脆弱な状態の両者を実現するためのプログラムを提供すること

世界共通標準をさらに国境に横断することによって、地域レベルとトライアルレベル、ロータリー財團が目指すものであるという自信を高めること

ロータリー財團の活動に対する理解を深め、ロータリーの役員イメージを高めること

使命

ロータリー財團の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を始め、技術革新することを通じて、世界平和、興奮、平和を達成することによることです。

重点分野

-  世相と動向予測／経営解決
-  疾病予防と治療
-  土地衛生設備
-  母子の健康
-  基本教育と識字率向上
-  経済と地域社会の発展

rotary.org/ja/futurevision

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1678 回例会 23 年 10 月 31 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 天満家 一軒 様



ニコニコ・BOX

吉川 博之君

クラブ青少年交換委員長会議の報告をします。

那須 正志君

米山記念奨学会委員長会議の報告 をします。

阪口 洋一君

ロータリー財団委員長会議の報告をします。



国際ロータリー ニュース

ロータリーの元奨学生が、
HIVと闘う母親を教育・支援

「2015年までに、新たなHIV／エイズの子どもたちへの感染を阻止するという国連の目標を達成することは可能だと思います。その理由の一つとして、HIV／エイズの母子感染は、予防が可能だからです।



母親と子どものための保健分野で活躍する学友のアーディラ・サバトさん。「母子の健康」は、未来の夢計画の6つの重点分野の1つです。写真提供：アーディラ・サバト

一ディラ・サバトさん
(南アフリカ出身) で
す。

世界保健機関（WHO）によれば、抗レトロウイルス薬の投与を受けていないHIV／エイズに感染した母親から子どもへの感染率は、45%と言われています。逆に、抗レトロウイルス薬を投与されている場合、感染率は2%です。

「母親に支援の手を」サバトさんは、ロサンゼルスにある非政府組織「mothers2mothers（m2m、マザー・トゥー・マザー）」に勤務し、これから母親になる女性たちに、HIV／エイズや母子の健康について教え、支援を提供しています。また、HIV／エイズに感染している妊婦が、同じ境遇にある妊婦を支援できるようにする研修も行っています。これらの「メンター・マザー（個人指導者となる母親）」は、医師や看護師と協力し、必要な支援を提供し、彼女たちの負担を少しでも軽くする活動しています。

国連目標を達成することは、経済的な視点からも重要だとサバトさんは言います。「妊娠中に、HIV／エイズ母子感染を 100 ドル以下の費用で抑えることができ

10月は職業奉仕月間です

ますが、子どもがHIV陽性で生まれてきた場合、治療には15万ドルがかかります」

m2mのケープタウンの事務所は、アフリカだけでなく、世界で最初の事務所で、その後アフリカで広がり、ロンドンやロサンゼルスにも事務所ができました。最初の寄付は、ケープタウンのウォーターフロント・ロータリー・クラブから寄せられました。サバトさんは、ケープタウンで10代を過ごした経験があり、同地のインターラクト、ロータリアクト・クラブの会長も務め、青少年交換プログラムでフランスを訪問したことあります。

エイズ孤児

両親とロータリー第9270地区の活動の影響を受け、常に何らかの奉仕活動に参加してきたというサバトさん。「第9270地区が行っている多くのプロジェクトは、南アフリカの200万人のエイズ孤児を支援するものです。それらの活動に多く参加させていただいたことが、現在のエイズ関連の仕事につながったと思っています」

サバトさんは今年初め、ケープタウンでプログラムに参加している母親たちを訪ねました。「女性たちから、自分がHIV陽性であることを知った時のショックと、そのことをパートナーに話した時の辛さについて聞きました。彼女たちは、HIV/エイズに関する知識がなかったため、自分の人生は終わったと思っていたんです。でも、彼女たちは、お腹の子どもをHIV陰性で産むことも可能で、その子が長く充実した人生を送り、家族を持つこともできるということを、プログラムに参加している母親たちから学んだのです」

ニュースレターリコネクションズを受信登録し、ロータリー財団プログラム学友の最新情報をご覧ください。

病気から身を守る方法をDVDで伝える

中米グアテマラで、病院に医療機器を提供するロータリーのグローバル補助金プロジェクトが実施されました。これにより、新生児医療が改善され、地域住民のあいだで予防衛生の知識が向上しています。

この54,322米ドルのプロジェクトでは、グアテマラと米国カリフォルニア州の2つのロータリー・クラブが協力し、病院(Hospitalito Atitlán)に酸素発生器、早産児用の保育器、診断機器を提供、さらに機器の使用・管理方法についての研修を病院スタッフを対象に実施しました。グアテマラのクラブは、地元のマヤ民族の人々にも支援の手を伸ばしました。栄養、一般的な疾病、母



グアテマラのHospitalito Atitlán病院の待合室で、健診生活のヒントを紹介するDVDを見る患者とその家族。写真提供:Rotary Club of Guatemala Norte

子の健康、衛生、アルコール中毒や家庭内暴力について、マヤの言語で説明したDVDを作成し、病院の待合室で映像を流しました。このような工夫は、他地域のマヤ民族を対象に実施されたマッチング・グラント・プロジェクトからヒントを得たものです。

DVDがもたらした影響は未来の夢計画の下で実施され、さらに、この補助金プロジェクトは、ロータリーの重点分野「疾病予防と治療」を支援しています。このプロジェクトにより、日常的に治療を必要とする人や予防可能な疾病にかかる人が減り、医師は重病患者の治療に専念できるようになるとクラブは説明します。また、患者を通じて家族にも恩恵とメッセージが伝わり、日々の生活で自己診断できるようになると、グアテマラのロータリアンは話します。

作成されたDVDは、ほかの診療所、保健局、教会、公民館でも使用されるほか、地元ケーブルテレビを通じて放送され、推定45,000人が視聴すると予想されています。さらに、ほかの中米国やメキシコ南部でも使用可能であると、プロジェクト関係者は説明します。

世界ポリオデーに考える、 ポリオ撲滅活動の支援方法

世界ポリオデーの10月24日、世界各地のロータリアンはポリオのない世界を実現するため、活動への意気込みを新たにします。アジア、アフリカ、中東では現在も、幼い子どもたちがポリオに感染しています。これまで20年以上にわたり、ポリオ撲滅を組織全体の最優先事項として活動を続けてきたロータリー。世界ポリオ撲滅推進活動を通じて、ポリオ撲滅まで「あと少し」のところまできました。1985年以来、全世界のポリオ感染数は99パーセントも減少した一方、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国では現在も感染が続いている。インドでは、今年10月12日までに報告された感染数は僅か1件です。昨年の同時期には、39件が報告されていました。最後の1パーセントをなくすための活動は非常に困難を極め、多くの費用もかかります。しかし、この1パーセントをなくさなければ、これからも何百万人もの子どもたちが、生涯身体の自由を奪われる危険性に再びさらされます。ポリオ撲滅を実現できれば、何十億ドルもの資金をほかの国際問題へ投じることができます。

ポリオ撲滅のための支援方法

- ・ロータリーのポリオ撲滅活動について学ぶ
- ・自分の顔写真をアップロードした「あと少し」広告をつくり、Facebookのプロフィール写真にする
- ・ポリオ撲滅活動のための資金援助を世界の指導者に訴えるオンライン署名に協力する
- ・10月24日から28日の間に、ポリオ撲滅活動のためにオンライン寄付をして、2倍の認証ポイントを得る。
- ・オンラインのロータリー・メディア・センターにある「あと少し」広報リソースを活用する。